

選定に必要な資料

(種目名 技術)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味関心を引く写真やイラストが多く使われており, 配色も鮮明で見やすい。読みやすい書体, 色覚特性が優れている。 情報機器やデジタル化された情報の持つプラス面やマイナス面を生徒の身近な事例を紹介しながらわかりやすくまとめてあり, 情報モラルの学習を行うのに適した内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> A B版になり「思考の流れ」「製作の手順」が横流れに説明しており, 内容が把握しやすく, 視覚的にも理解しやすい。また, 各領域の全てに共通した構成になっている。 各領域が全て三章構成でまとめられ, 各ページのフレームが共通しているため, 読みやすい工夫がなされている。 ページのツメが色分けされており索引性に優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各領域において「技術の匠」の欄を設け, ものづくりの大切さや技術を学習する意義を伝える工夫がなされている。(p21, 61 他) 生物育成では, 栽培暦のほか, その収穫物を使った料理例が示しており, 興味・関心を高める工夫がなされている。また, 種類も多く大きい写真を利用している。(p146, 147) 	<ul style="list-style-type: none"> 実習の手順や製作の方法などが, イラスト等を使ってわかりやすく説明しており, 免許外の教員にも指導しやすい工夫がなされている。(p50, 51) 巻末に防災手帳の付録を設け, 「災害時の電気事故の防止」・「非常時に電源として使える機器」など, 教科の内容に即した情報がまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各領域の実習のページには, 製作物の難易度が示しており, 生徒が製作物を選定する際の手助けになるよう配慮されている。(p78, 79) 各領域において「私の工夫」の欄を設け, 発展的な学習の例が示されており, 生徒の思考の手助けとなる工夫がなされている。 欄外に学習に関する小問題が掲載されており興味関心を引き出す上で効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に実習するための注意事項が巻頭で紹介されており, 4つの領域について具体的に明示されている。(p2, 3, 4, 5) 創意工夫についてカッターナイフや付箋など身近な商品に関連して紹介されており, 興味・関心を高める内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりに技術の評価活用を行うためのワークシート例が掲載されており, 振り返りや確認がしやすい構成になっている。(p81, 145) PDCA サイクルの流れを各領域において統一的に示し, ものづくりをしながら問題解決能力が育成できるよう配慮されている点が優れている。(p50, 51)
C 教育図書	<ul style="list-style-type: none"> 「材料と加工に関する技術」では, プラスチック, 金属, 木材の3つの材料の製作過程を通して, 材料の特徴や加工方法などについて学ぶ構成となっている。 内容が精選されておりシンプルな構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には, 4つの領域の学習目標やねらいがわかりやすく表記されており, 学習の意義や大まかな内容がわかりやすく記載されている。(p14-17) 	<ul style="list-style-type: none"> 電気回路図や栽培計画表では, 手書きの資料を載せ, 学習時に生徒がイメージしやすいよう配慮されている。(p115, 186, 187) 「強さを高める工夫と構造」や「電気回路図」など, 学習した内容が実際の生活のどの場面で活用されているかを写真等の資料を使い, わかりやすく説明してある。(p86-88, 111) 	<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストが大きく掲載されているため, 細部まで見やすく実習しやすいよう工夫されている。 「動物を飼育する技術」では, 題材例が豊富に紹介されている。(p188-195) 	<ul style="list-style-type: none"> 「生物育成に関する技術」では, 栽培実習例について写真資料を充実させ, 栽培方法について具体的に記載されており, 生徒が自主的に作業を進めていくために効果的である。(p160-183) 各章末に「まとめ」「章末問題」が準備しており, 学習内容を確認できるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な製品の分解図が記載されており, ひとつの製作物が多数の部品から構成されていることがわかりやすく説明されている。(p21, 29) 実習例を示すページの上部に現在の製作過程を示す図が記載されており, 見通しをもって製作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容が精選されており写真やイラストを大きく掲載するなど, 興味・関心を引く工夫がなされているため, 生徒が理解しやすく, 学習を行うのに適している。

選定に必要な資料

(種目名 技術)

No.2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
D 開隆堂出版	<p>・各領域において、いくつかの学習項目のまとまりごとに「ふり返り」の項目があり、学習への動機づけや意欲を高める上で、効果的な指導ができる。</p> <p>・本文は基礎的・基本的な学習内容が精選してまとめられており、図や写真等との関連性もわかりやすく表記されている。</p>	<p>・生徒の学習活動を、「知る」「できる」「考える」の大きく3つに分類し、各領域の内容において色で示し、わかりやすい構成になっている。</p> <p>・「材料と加工に関する技術」での実習例は、木材、金属、プラスチックについての作品例がバランス良く記載されており生徒が学習しやすいように工夫されている。(p47-52)</p>	<p>・奇数ページ右上に学習内容に即した工具等の写真資料が掲載されており、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>・各領域の導入段階において、技術の歴史や先人の技術について写真とともに紹介されており、生徒の興味・関心への配慮がなされている。</p>	<p>・「ガイダンス」において、小学校で学んできた内容と技術分野で学ぶ内容とのつながりや違いを示し、技術分野に取り組む意識付けが行えるよう工夫されている。</p>	<p>・PDCA サイクルの流れをガイダンスにおいて2ページに簡潔にまとめられており、学習を進めていく上で思考のプロセスを理解しやすい。</p> <p>・「工夫してみよう」の欄があり、踏み込んだ学習内容が記載され、発展的な学習を進めていく上で効果的である。</p> <p>・欄外に学習に関する豆知識が掲載されており興味関心を引き出す上で効果的である。</p>	<p>・生徒への負担を減らすため現行教科書よりも軽量化されている。また、色覚特性を問わず見やすいページ構成となっている。</p> <p>・「情報セキュリティ」と「情報モラル」に関する内容を分けて記載し、学習課程の早い段階に学べるよう工夫されている。</p>	<p>・全体として、各内容が「導入」「基礎学習」「展開」「まとめ・評価」の順で構成されており、基礎的な学習内容も精選されているため生徒が取り組みやすい内容となっている。</p> <p>・学習項目ごとに「学習目標」がわかりやすく設定されており、生徒が取り組みやすい工夫がなされている。</p>